

報道関係者各位

2025年2月18日(火)

株式会社明電舎

シンガポール MRT クロスアイランド線向け 変電機器の受注

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫/東京都品川区 以下明電舎）とシンガポール現地法人である Meiden Singapore Pte. Ltd.（以下 MSL）は、Siemens Mobility Pte. Ltd.（以下 SMPL）より、シンガポール MRT クロスアイランド線向けの変電機器を受注しました。

■ プロジェクトの概要

本プロジェクトは、シンガポールの Land Transport Authority（陸上交通庁 以下 LTA）が進める全長 50km を越える路線の新設工事で、2030 年に Phase1、2032 年に Phase 2 の完工が計画されています。クロスアイランド線は 8 つの乗換駅を有し、各既存路線の Clementi、Ang Mo Kio、Pasir Ris などの駅を結びます。

本プロジェクトにおいて、SMPL が電力システム一式を受注し、明電舎と MSL は一部の変電機器の製作を請け負います。

■ 受注の内容

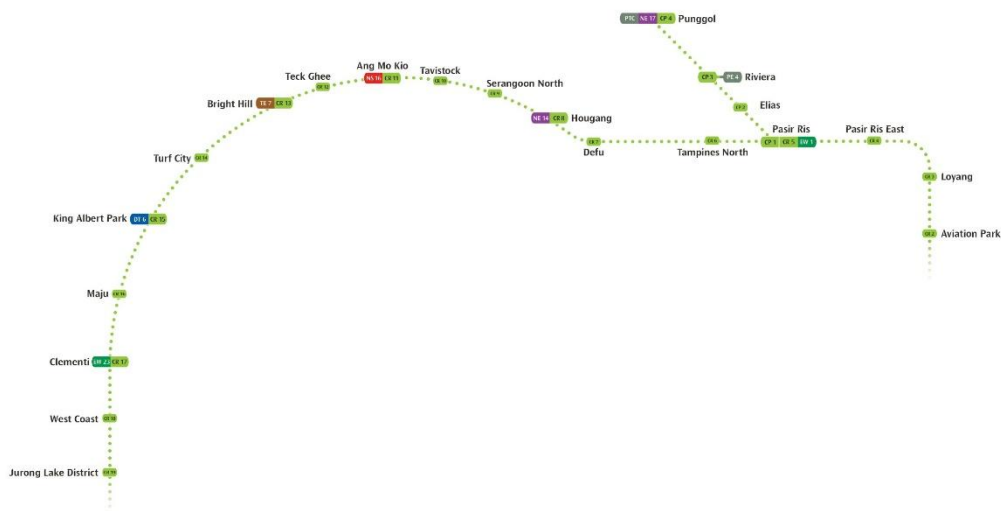
クロスアイランド線に建設される各変電所と車輛基地向けに、明電舎が電力を供給する整流器と余剰電力を回収する回生インバータを組み合わせたダブルコンバータを、MSL が各種変圧器を供給します。

明電舎と MSL は、LTA 向けに 1980 年代の地下鉄開業当初から鉄道用電力設備を納入、機器の更新を重ね、シンガポールの鉄道インフラの発展に貢献してまいりました。また、本案件は 2022 年に SMPL が受注したジュロンリージョン線向け一部の変電機器案件に続く SMPL への機器供給となります。

明電グループは今後も、長年培ってきた海外電鉄事業の技術と経験を生かし、都市の抱える環境課題の解決や経済発展に寄与することで、鉄道が導く持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

■ 路線図



Cross Island Line (Phase 1 and 2)

CRL Cross Island Line

■ 参考リリース

- 2022年11月リリース
シンガポール MRT トムソン・イーストコースト線 (stage3) を完工
https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242963_10499.html
- 2018年2月リリース
シンガポール MRT 南北線・東西線向け電力設備一式を 400 億円で受注しました
https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242715_10499.html